

関係各位

平成23年10月24日
追記平成23年11月30日
追記平成25年10月4日
追記平成27年11月5日
追記 2020年10月1日

株式会社わだまんサイエンス
本社：〒604-0845 京都市中京区烏丸御池上る二条殿町 546
TEL075-222-7318、FAX075-222-0318

残留農薬ポジティブリスト制度に対する見解書

平素より格別なる御引き立てを賜りありがとうございます。
弊社商品「リグナンリッチ黒ごま油」の現時点の農薬ポジティブリスト対応について記載させていただきます。

弊社グループ企業である㈱和田萬が2006年度産～2010年度産リグナン胡麻については検査期間(株)マシス食品安全評価分析センターの添付の内容の残留農薬分析報告書をもって、また2018年以降については、(株)LSIメディエンスでの分析をもって原料の証明とさせていただきます。

1：試験項目 2006年～2008年産はH21IFM433 (433項目)、2009年度産
H21IFM435 (435項目) 2010年産H21IFM439 (439項目)
2018年産は200項目の農薬の分析を実施。

2：分析項目および分析方法
分析方法 食品衛生法・衛生試験法・日本薬局方・日本工業規格(JIS)
PAM※・AOAC・WHO・MASIS その他の分析方法による
※ Pesticide Analytical Manual (PAM) :
米国食品医薬品局(FDA)の残留農薬分析マニュアル

3：結果 検体からは農薬は検出されておられません。

4：成績書類

- ①依頼 No. 36711：検体の名称 2006年産 リグナン黒ごま2010/2月依頼
- ②依頼 No. 36711：検体の名称 2007年産 リグナン黒ごま2010/2月依頼
- ③依頼 No. 36712：検体の名称 2008年産 リグナン黒ごま2010/2月依頼
- ④依頼 No. 38106：検体の名称 2009年産 リグナン黒ごま2010/4月依頼
- ⑤依頼 No. 48419：検体の名称 2010年産 リグナン黒ごま2011/8月依頼
- ⑥依頼 NO: 20L-03169 検体名称 ミャンマー(リグナン) AB-10-2160-01 2020年4月20日依頼

5：追記

なお、435項目～439項目の農薬の分析の根拠としては、厚生省の定める農薬のモニタリング制度の「穀類、豆類、種実類」の分析項目として胡麻の農薬についても指定されていることによります。435項目～439項目の農薬の分析の根拠としては、厚生省の定める農薬のモニタリング制度の「穀2類、豆類、種実類」の分析項目として胡麻の農薬についても指定されていることによります。